

姫山ゆきちゃん♡

B:98

W:62 みゃ

H:95 だめだあ!

オタサーの姫で  
えっちが大好きな  
女の子♪

ゆきちゃんに  
なにもかも

搾りとられる  
ことになった...

まぐじに当たった俺は...

オタサーの姫に  
ナニもかも  
搾りとられちゃった!

基本CG10枚(立ち絵含まず)+α  
総CG枚数205枚(CGのみ差分83枚)  
Hシーン数8シーン



SAGINAKAMITA STA.

今日は良い買い物できたな……





今日は大学の休講日。

久々の休みだったため、  
秋葉原で買い物をして  
最寄駅に帰ってきたところだ。





家に帰ったら  
この同人誌で……  
ぐふふ

なに気持ち悪いこと  
言ってるんですか？

!?





SAGINAKAMIYA STA.

この声は……  
ゆ、ゆきもちちゃん!?



こんばんは  
斎藤くん。  
買い物の帰りですか？

そ、そうだけど……  
ゆきちゃんはなんで  
こんなところ？





ひめやま  
この子は姫山ゆきちゃん。  
僕が所属するオタクサークルにただひとり  
存在する僕の憧れている女の子だ。



顔の可愛さはもちろん、清楚な見た目で  
性格もとてもよく、  
体つきはとてもえっちな……  
ゆきちゃんと同じ空間にいと、  
良い匂いとそのえっちな身体から  
出てくるフェロモンで常に勃起してしまう。



斎藤くんって今日、  
秋葉原でお買い物  
してきたんですよね？

ちよつと用事が  
あったので、ここで  
待っていたんです





そ、そうなんだ……  
あ、そ、それで僕に  
何の用……？

……斎藤くんって、  
最近とてもお金遣いが  
荒くないですか？

え……





確かにぼくは気まぐれで買った宝くじでこの前大学の間では使いきれないほどの金額が当たった。



そのため欲しかった同人誌などを欲望の赴くままに買いあさっていたが、みんなにはバレないようにしてたのに……



えええそうかな？  
え、そんなことは……

ああいえ、  
怒るつもりはないんですよ。  
ただ確認したかっただけで。

でもそのかんじを見る限り  
凶星みたいですね。  
宝くじでも当たりましたか？





やっぱりそうでしたか。  
あのですね、斉藤くんに  
お願いがあるんですけど……

……うん



ああ、これはお金を貸してくれって話かな……仕方ない。他でもないゆきちゃん頼みだ。少しくらい貸しても……

ふわっ……  
ふと気がつくといゆきちゃんの顔がぼくの耳元まで来ていた。





えっちなこと、  
……して、あげますから

ゆきに少しお金を  
わけてくれませんか？

……斎藤くんって、  
童貞さんですよね……？  
♡

っ……!?



ゆきが斎藤くんの  
童貞おちんちん……♡

ぱくぱくうつつて、  
食べて  
あげたいんです……♡

どうですか……？

き、今日は親、  
家にいないんだ……

……はい♡  
ありがとうございます♡







ぼ、ぼくの家、  
ここなんだ……

駅から結構近いんですね。  
でも斎藤くんって  
結構大胆なんですネ

え……？

だって……  
女の子とえっちなことをするために、  
いきなり自分のおうちに  
連れて帰るんですから♡





そうだ、これからぼくは  
ゆきちゃんと  
えっちなことをするんだ……  
この、ゆきちゃん……

ド  
ク  
ン





へえ、ここが斎藤くんのお部屋ですか

う、うん……

結構きれいにしてるんですね。  
女の子的にはポイント  
高いですよ♡

そうかな？  
よ、よかった……





ゆきちゃんのかわいい声が  
ぼくの部屋に響く。  
僕の部屋にゆきちゃんがいる。  
あの憧れていたゆきちゃんが……  
しかもこれからそのゆきちゃんと  
えっちなことをするんだ……

もー、斎藤くん聞いてますか？  
あ、ベッドに座っちゃいますね

あ、ごめん  
ゆきちゃん……



あ、そ、そうだ  
お金はどうしよう……？

お金ですか？  
うーん、あとでいいですよ。  
それより斎藤くん  
緊張してるみたいですし、  
すこしお話しましょうか。

う、うんいらよ。  
なに話そうか？

そうですね……





…!?

ゆきちゃんのぱんつ  
が見えてる……!?

め、目が離せない………!  
それにしてもゆきちゃん、  
かわいいぱんつを履いてるんだな……



斎藤くん  
聞いてますか？

っ！  
ごごごめん！  
なんの話だったかな！？

もう、やっぱり  
聞いてませんね……  
ねえ、斎藤くん？

な、なにかな？





……どうい、  
みてたんですか？

ド  
キ  
ッ

!?

ば  
ぶ  
ら  
ん  
……  
!?





はいいめんー！  
見えちゃっていいしー……！

ふふふ、いいんですよ。  
男の子ですもん、  
仕方ないです♡

それに……

……？

これから、  
えっちなこと……  
ゆきとしちやいますもんね♡

……  
ビク……



ね、斎藤くん。  
……おちんちん、  
おつきくなつてますよ？  
もう我慢……できないんですよね？

ドグツ

はっ  
はっ  
……

ドグツ  
ドグツ

……ゆきが、斎藤くんのおちんちん、  
いっぱい……  
きもちよくしてあげます♥

斎藤くん。  
服を脱いで、  
そこに立っててください♥

まずはお口で、  
してあげますから……♥







こゝこれで  
いら……っ？

はい♡  
斎藤くんのおちんちん、  
すごくガチガチです  
ね♡  
かっこいいですよ♡

うっ……

ふー♡

ずん♡

ずん♡  
ふー♡

むわっ……♡

それに……  
すごくえっちな  
濃いいにおいが  
します♡

ごめん……  
出かけてたから……



いいんですよ♥  
ゆきがとろとろのおくちで、  
おちんちん……  
きれいにしてあげますね♥

お、お口で……?

ふー♥

ふー♥

はい♥  
ほら、見てください……

?





ゆきちゃんはマスクをずらして  
かわいいお口を見せると、  
えっちな顔でにっこりと笑った。





ドキッ  
っ!

く  
ぽ  
あっ

はあっ

あはあ……♡

それじゃあ、  
斎藤くんのおちんちん、  
たべちゃいますね……♡



ぼくのおちんちんが  
マスキ越しのゆきちゃんのお口に  
にゆるりと食べられてしまった。

うああー！

ぐんぐん  
ぐんぐん

がっ  
がっ

にゅる  
にゅる



はーッ

すげー……  
ゆきちゃんの口の中、  
あつくてちんちんが  
溶けそう……!!

はーッ

んふ〜♡

♡

♡

まだくわえただけですよ  
まらふわえたらけれすよ?

んふー♡

とろ♡

♡

んふー♡

ゆきちゃんはこいしと  
笑うと……





なんだこれ!?  
めちやくちや気持ちいい!?  
口の中全部を使つて、  
ちんちんから搾りとろろとこしてあげる!!

っああ!  
うあああ!?

んじゅっ  
んじゅっ  
んじゅっ

んじゅっ  
んじゅっ  
んじゅっ

んじゅっ

んじゅっ

んじゅっ

んじゅっ

んじゅっ  
んじゅっ  
んじゅっ

んじゅっ  
んじゅっ  
んじゅっ





ぞくぞくぞくぞくぞくぞくぞく

あ、あ、だめだ、  
唾えられたばかりなのに、  
も、もう、出ちやうつ!!

ぞく

ほがっ♡♡♡

がっ♡♡♡

♡♡♡  
ほいほいほい♡♡♡

♡♡♡  
ぶっ♡

がっ♡♡♡  
がっ♡♡♡  
がっ♡♡♡

♡♡♡  
んぷっ♡

♡♡♡  
ほい♡

にゅ

んぷっ

いっ

んぷっ



うああつ  
ああああ!!







あ...  
あ...  
あ...

んっ...  
あ...  
あ...

んっ...  
あ...  
あ...

ビュッ...  
あ...  
あ...

トッ...  
あ...  
あ...

カッ...  
あ...  
あ...

ビュッ...  
あ...  
あ...

ビュッ...  
あ...  
あ...

トクッ...  
あ...  
あ...

あ...  
あ...  
あ...

あ...  
あ...  
あ...

あ...  
あ...  
あ...

あ...  
あ...  
あ...



んふ〜

あ……  
す、す……

腰が溶けるかと  
思った……

さいとうくん  
はいおふん……

みて  
みへ……

え……?

はー……  
はー……







ぼ、ぼくの出した精液が  
ゆきちゃんの中の口の中で  
いっぱいになってる……!?

んはあ……♡

くはっ♡  
ドク……♡

っ!?!  
ドクッ

ドクッ

んはあ……♡



んっ……♡

おっ……♡

んっ……♡

んっ……♡

んっ……♡

んっ……♡

もしかしてぼくの  
精液を飲んでくれてる……？

んっ……♡

んっ……♡

んっ……♡

んっ……♡

んっ……♡





あは……♡

むわっ♡

はかまっ♡

ぐきん

っ……!

う、わ、  
飲み干して……!

ぐー♡

ぐー♡

いっぱい、  
出ましたね……♡

ねえ、  
斎藤くん……?♡





しゃるるる...

みてください……♡  
ゆきのここ、  
もうこんなになっ  
ちやいました……♡

ドキッ

う……  
わ……っ

たかたんっ

むわ……♡

たかたん

たかたん

とろろ……♡

むちっ

ドクン

ゆ、ゆきちゃんこの  
おっぱいとおまんこが……！

ドクン



ね



斎藤くん



ゆきとえっち、♡  
シたいですか……？♡

むわ……♡

にゅる……♡

どきい

どきい

はっ……

ドク……

ドク……



ね……♡  
シたいてって、  
言っってください……♡

おっ……

う……  
し……  
したら……

おっ……

おっ……

おっ……

おっ……

おっ……

……♡  
わかりました♡  
ね、ゴムつけてあげます♡

あ、ゴム……

おっ……  
おっ……





そ、そうだよな……  
ゴム、つけるよね……

あゝ♡  
もしかして  
生でできると思ってた？  
だめですよ♡

斎藤くんの童貞は、  
ゴム越しに喪失です♡

むわあ……♡  
ネケケス……♡

しゅん……

うん……

そのかわり……♡

え……？

どきん  
どきん

トクッ  
トクッ



お口でゴム、  
つけてあげますから♡

えっ……！

おわ  
か  
か  
か

ゆきちゃんの言葉に、ぼくのちんちんは  
硬度を取り戻す。

ベッドの上に座ったゆきちゃんは、  
ぼくのちんちんの前にひざまづいて  
妖艶に笑った。





できました♥

じゃあ、斎藤くんのおちんちんに……  
ゴム、つけちゃいますね♥

んんんんん……♥

んんん……♥

おわ

おわ

おわ

カ

カ





んちゅう…

うわ、あ、  
ああ……っ



ゴム越しだけど、ゆきちゃんのお口の感覚が  
再びぼくのちんちんに伝わる。  
今度はさっきのような搾り取る動きじゃなく、  
丁寧に、ぼくのちんちんの隅々までいたわるように  
お口の中の器官が着実にしっかりゴムをつけていった。



わっ!?!  
だ、だめだよゆきちやん、  
そんなことしたら、  
またでちやうつ……!

しゃんしゃん  
しゃんしゃん  
しゃんしゃん  
しゃんしゃん  
しゃんしゃん  
しゃんしゃん

しゃんしゃん  
しゃんしゃん  
しゃんしゃん  
しゃんしゃん

んちゅう♡  
♡

んっ♡  
♡

んっ♡  
♡





こぼし♡

……おぼし♡

ちゅぽん♡

ドキドキ♡

ぽん♡

あ……♡

ぽん♡

ぽん♡

ドキドキ♡

えへ♡

ごめんね♡

ほら、ゴムしおまましたよ♡

……ごじゅ

出ちゃうかと思った……



ね♡  
おちんちん、  
ガチガチですね♡

ううう……  
恥ずかしい……

おまぢかねの……  
えんこーえつち♡  
しましろうか♡

んんん♡  
わん♡

わん♡

ドキッ

うん……  
うん……!



ね♡  
おちんちん、  
ガチガチですね♡

うう……  
恥ずかしい……

続きは本編で!!!

おまぢかねの……  
えんこーえつち♡  
しましろうか♡

わん♡

わく♡

ドキッ

うん……  
うん……!